記念館新聞

福崎町立
柳田國男・松岡家記念館
〒679-2204
神崎郡福崎町西田原
1038の12
電話：0790-22-1000

新年あけまして おめでとうございます

岩田健三郎・画「日向ぼこ」

✦本状は、昨年の版画教室で先生からいただきました。

旧年中は、当館事業へのご理解・ご協力を賜りありがとうございました。

おかげさまで、柳田國男の兄である、井上通泰生誕150年の記念事業として、山桃忌や柳田國男検定、展示、講演会など、年間を通じて開催することができました。多くのみなさんにご参加いただき盛り上げていただいたこと、感謝申し上げます。

さて、この2～3年は、松岡五兄弟の節目を祝う記念事業が続きましたが、今年は、来年生誕140年を迎える松岡静雄に関する事業の準備作業を行います。

柳田國男は、静雄のことを「人のやらないことをやってみようとする野心」と「負けん気」が強い性格であったと述べています。静雄がどのような生涯を過ごし、関連する資料が残っているのか、ていねいに調べていきたいと思います。

名作著書紹介

故郷七十年を読む

松岡家の7男・静雄は、海軍兵学校を卒業後、軍人となりました。海軍大佐を退官したあとは、得意とした言語を活かし、言語学、民族学の研究に専念しました。

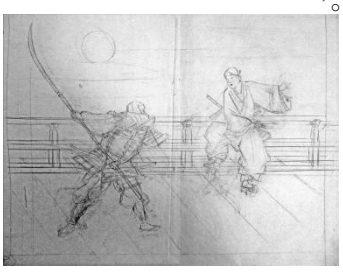
軍人になるということは、静雄が生まれた時に、母が何度も夢を見たという話を國男は記しています。そして、その話を静雄も幼い時から聞かされ、半ば暗示を受けたような形でしたが、國男は、「九つぐらいのときからきめていたのであるから、大変な子供であった。」と感心しています。

やがて静雄は軍人となり、日露戦争の時は、新参の大尉で千代田艦の航海長として、海戦に加わりました。

松岡映丘画稿の補修

記念館では、松岡映丘の画稿を収蔵しています。映丘は、古典の学習を基礎として、やまと絵を深く研究し、時代にふさわしいやまと絵の再興に力を注ぎました。画稿は、本絵の下書きです。また、本絵の完成にはいたらず、構想のみの画稿もあり、映丘が制作に用いた手法や過程を示す、大変貴重なものです。

画稿は、未補修のものも多いため、裏打ちなどを施し、保存や展示に適した修復を行っています。修復を終えた作品は、4月に展示する予定です。



牛若丸と弁慶（部分）

記念館販売書籍の案内

『柳田國男読本』は、柳田國男を知るための絶好の入門書です。

検定のテキストにもなっています。読みやすいものですので、ぜひお買い求めください。

読本　1冊２００円

合格鉛筆の販売

学問成就を祈願する縁起の良い五角形の合格鉛筆です。

お求めは、記念館まで。

1本　100円

✤合格祈願グッズ✤

柳田國男・松岡家記念館

☆☆入館案内☆☆

☆開館時間
9時～16時30分
（入館は16時まで）

☆休館日
月曜日、祝日の翌日
12月28日～1月4日

☆入館料
無　料

館日記

博物館実習生の報告

11月28日から12月9日まで、記念館で博物館実習を受けました。

今回の実習で、柳田國男だけではなく松岡五兄弟の偉大な功績を知り、近代日本にここまで貢献した兄弟たちがいたという事実に驚きました。

また、博物館業務や、資料の取り扱いなど、初めて知ることばかりで大変勉強になりました。

短い実習期間でしたが、ありがとうございました。（原田研太郎）

軸装の巻き方を実習